

2021 年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM 學生報名表

姓名		性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>
英文名		出生地	
出生日期	西元 年 月 日	國籍	
現在住址		連絡電話(一般)	
永久住址		(行動電話)	
就讀學校		科系	年級
教 育 經 歷			
	學 校 名 稱	地 點	
小 學			
中 學			
高 中			
大 學			

家 庭 狀 況				
	姓 名	年 齡	職 業	住 址
父				
母				
緊 急 連 絡 人				
姓名		住址	電話	
前往日本次數			次	兵役狀況
社交活動及興趣				
特殊技術或專長				
E-MAIL				
日語能力檢定		N- 合格		黏貼 2 吋照片

(上列表格請以中文確實填寫)

本公司將於初審期間保存您的個人資料，您的個人資料將僅用於本次甄選赴日研習活動使用。在未經您的同意之下，我們絕不會將您的個人資料提供予任何與本公司無關之第三人，或移作其他目的使用。若您不願意提供真實且正確完整的個人資料，將可能導致無法成功報名此次活動。

請問您是否同意本公司初審期間保存您的個人資料：同意 不同意

2021JAL スカラシッププログラム アプリケーション

記入日 年 月 日

写真
JPEG 形式
でデータ貼付
(参加者名簿, 報告書で
皆さんと共有できるお写真を
お願いします。)

基本情報

名前(パスポート表記) **Print name as in Passport**

ローマ字

Tick Either 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)
 Full Name

カタカナ

姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

漢字 Kanji

(if any) 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

プログラム中に呼んでほしいニックネーム

国籍

性別 男 女

生年月日

年齢

月 MM / 日 DD / 年 YY

パスポート番号

Date of Expiry:

現住所 (郵送に使用いたします。国名から郵便番号まで含めて、自宅のご住所を明確に記入してください。カタカナ使用不可。)

Print in English

(郵便番号 Zip-code :) Country/Region

電話 : (国/地域番号) +

FAX : (if Any) +

E-mail Address :

Any other Addresses for last minute communication before departure

(Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, etc.) :

緊急時の母国の連絡先:

名前 _____ 続柄 _____

住所 _____

電話(国番/地域番号)+ _____ FAX(If Any)+ _____

E-mail Address: _____

Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, (for emergency contact)

学校名 _____

専攻 _____

母国語 _____

日本語能力

日本語検定 () 級 (年)

日本語履修暦

討論ができる

日常会話ができる

片言

その他の外国語 (参考)

 討論ができる

日常会話ができる

片言

 討論ができる

日常会話ができる

片言

 討論ができる

日常会話ができる

片言

健康状態

良い あまりよくない

常用の薬の有無 ある ない

(ある場合、具体的に記入) _____

アレルギー ある ない

(ある場合、具体的に記入)

ペット _____

医薬品 _____

食物 _____

その他 _____

食事制限の有無 ある ない (本プログラムの内容上、希望に添えない場合があります)

ある場合、具体的に記入してください。

<例：豚肉、海老、卵、乳製品（ミルク、バター、チーズ）>

宗教上の理由 _____

アレルギー _____

その他 _____

好きな食べ物 _____

嫌いな食べ物、日本食で食べられない物 _____

飲酒 お酒を飲む お酒を飲まない

喫煙 煙草を吸う 煙草を吸わない

ペットは好きですか？ はい いいえ

いいえの場合、具体的に 犬 猫 その他 _____

★「健康状態」以下、「食事制限」、「食事好き嫌い」、「飲酒」「喫煙」などの質問項目は、日本での受け入れ準備に必要な情報であり、スカラー採用の可否には直接関係いたしませんので、正確なご記入をお願いいたします。

海外旅行経験

時期・期間	国名	目的
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

趣味・特技

将来の希望（職業など）

日本について興味のあること

2021JALスカラシッププログラム 日程表 (案)

DATE	日付	曜日	プログラム内容	宿泊先
1	6月28日	月	各地区より成田・羽田到着後ホテルチェックイン	東横Inn品川駅港南口 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目2-3 5 TEL: 03-5715-1045
2	6月29日	火	午前：オリエンテーション（日程・注意事項説明） 午後：自己紹介 チームビルディング HND JLXXX HNDxxxx発-FUKxxxx着 宿舎 Global Arenaxxxx頃着。	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8400
3	6月30日	水	午前：福岡オリエンテーション（日程・注意事項説明、自己紹介等） 午後：宗像大社参拝体験 神宝館拝観 夜： 歓迎懇親会	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8400
4	7月1日	木	午前：海の道むなかた館 見学 九州大学学生 ながさき海援隊 合流 基調講演「 九州大学清野 聡子 准教授 午後： さつきの松原海岸 ICC調査 海岸清掃 ながさき海援隊 夜： 歓迎会	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8400
5	7月2日	金	午前： ICC調査分析結果報告 ながさき海援隊 パネルディスカッション「宗像の漁業」について（仮題） 午後： フィールドワーク トヨタ自動車九州 レクサス工場見学	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8401
6	7月3日	土	午前：フィールドワーク 釣川の源流から河口まで 午後：フィールドワーク 釣川の源流から河口まで 夜： 宗像市国際育成プログラム	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8402
7	7月4日	日	午前：フィールドワーク 日田市 水源開発の歴史を学ぶ 午後：フィールドワーク 日田市 水源開発の歴史を学ぶ	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8403
8	7月5日	月	午前：フィールドワーク 北九州市 産業発展の歴史を学ぶ 午後：フィールドワーク TOTO シャボン玉石鹸 工場見学	Global Arena 811-4153福岡県宗像市吉留46-1 TEL: 0940-33-8404
9	7月6日	火	午前：JL310便（福岡11:00発 羽田12:35着）にて東京へ 午後：①JALスカイミュージアム ②日本航空安全啓発センター	151-0052渋谷区代々木神国町3番1号国立オリンピック記念青少年総合センター 03-3469-2525
10	7月7日	水	午前：（移動）東京からつくばエクスプレス経由 つくば市内 午前：国立環境研究所、もしくはJAXA筑波宇宙センター見学 午後：秋葉原	151-0052渋谷区代々木神国町3番1号国立オリンピック記念青少年総合センター 03-3469-2525
11	7月8日	木	終日：フィールドワーク アイセックプログラム	151-0052渋谷区代々木神国町3番1号国立オリンピック記念青少年総合センター 03-3469-2525
12	7月9日	金	午前：公開シンポジウム準備（グループ討議・資料作成） 午後：公開シンポジウムリハーサル（必要に応じて資料作成継続） 夕刻：発表資料作成	151-0052渋谷区代々木神国町3番1号国立オリンピック記念青少年総合センター 03-3469-2525
13	7月10日	土	JALスカラシッププログラム「公開シンポジウム」（国立オリンピック記念青少年総合センター、10:00～10:00） 修了式	ホストファミリー
14	7月11日	日	終日：自由行動 夜：フェアウェルパーティ	東横Inn品川駅港南口 〒140-0002 東京都品川区東品川2丁目2-3 5 TEL: 03-5715-1045
15	7月12日	月	帰国	

◆ JALスカラシップ

◆ 世界子どもハイク

◆ 大気観測

◆ 地球人育成プログラム

◆ 募集情報

◆ 2021年 JALスカラシッププログラム 海外学生参加者募集 ◆

JALスカラシッププログラムとは

JALスカラシッププログラムは、毎年、アジア・オセアニアの大学・大学院生を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解や、国境を越えた相互理解を深めて頂き、また将来のアジア・オセアニア地域を担う若者へと育成することを目的として開催しております。このプログラムは1975年に日本航空によって創設され、1990年に発足したJAL財団がその運営を引き継ぎ、時代のニーズを反映しながら内容の充実を図りつつ、これまでに1,641名の学生をお迎えしております。なお、その卒業生の多くが、広く世界で活躍されております。

What is JAL Scholarship Program?

The JAL Scholarship Program invites college students from across Asia and Oceania to Japan every year and provides them with opportunities for workshops and cultural interchange. Through these activities, the Program aims to enhance their understanding beyond national borders. This Program also aims to develop young men and women who will assume future leadership role in the region. The Program was launched in 1975 by Japan Airlines. The JAL Foundation took over the management of the Program when it was established in 1990, and has been working to improve its content each year, in tune with the needs of the times. A total of 1,641 students overseas have participated in the Program so far, and many alumni are playing active role in the international community.



▶ 2019年 JALスカラシッププログラム実施報告

1.開催期間：2021年6月28日（月）～7月12日（月）計15日間

※日程は予定であり、変更になる場合があります。

1.Period : 28 JUN (MON)~ 12 JUL (MON),2021 (15days)

The Schedule may be subject to change.

2.2021JALスカラシッププログラム 開催テーマ

SDGs持続可能な社会へ、将来世代のために私たちができることを考えよう

- ①**開発と環境保全について考えよう。(宗像地区において)**
- ②**環境について考えよう。将来世代のために今私達にできること~(東京にて実施予定)**

2.The main theme of the 2021JAL Scholarship Program

SDGs for a sustainable society let's think that we should do towards the next generation

- ①**Let's think the development and environment preservation (In munakata area)**
- ②**Let`s think what we can do to save the environment (In Tokyo)**

3.内容：日本語プログラム**①講演**

福岡県で実施される講演は、テーマに沿った内容で実施し、参加学生に学びの場を提供し、考察してもらう課題を提示します。

②フィールドワーク

日本人学生も交えて、各地でテーマに沿った施設見学、実地踏査、取材、インタビュー等を通じて、プログラムメインテーマについて考える機会を提供します。

③学生セッション、グループ討議、グループ発表

日本人学生と混合でグループに分かれ、フィールドワークの成果等を踏まえてグループディスカッションを行います。

東京では、最後に日本人学生とグループ単位での発表を行います。

④ホームステイ(東京)

日本の家庭に迎えて頂いて、日本人の生活習慣や、行動様式等について理解を深めます。

3.Program Contents : Japanese Program**①Key Note Speech and lectures**

The participants will acquire and develop comprehensive knowledge and a clear understanding of this program's theme.

②Field Work

Field Work consists of visits to various facilities and historic sites, joint field surveys with Japanese students, and interviews with local people. We will provide participants with chances to visit actual field site so that they can increase their awareness of Japan.

③Students Session&Group Discussion Group Presentation

The participants will form groups mixed with Japanese students to conduct group discussions and surveys for specific agendas. SDGs.A Group Presentation will be held at the last part in Tokyo.

④Home stay (Tokyo)

The participants will deepen their knowledge and understanding of Japanese customs and ways of life by experiencing Japanese lifestyles first-hand with host families.

4.費用について

参加者の個人的費用(電話代、土産物費用など)を除く、以下の費用は財団が負担・提供します。

- ①エコノミークラス航空券(参加者の居住地の最寄りのJAL便就航地と東京間の往復券)
- ②日本国内で必要な交通費
- ③宿泊費・飲食費(宿泊施設等より提供するが、若しくは、食費を支給)
- ④海外旅行傷害保険(盗難、手荷物の破損・紛失、怪我、病気等による入院、通院、死亡保障など)保険料

4.Expenses

The following expenses, not including personal expenses (e.g. telephone and souvenirs), will be paid by the sponsor and supporting organizations:

- ①Economy class airfare on Japan Airlines between Tokyo and the airport nearest to the student's residence served by JAL
- ②All transportation in Japan during the official program, including domestic air/rail travel to cities outside Tokyo All accommodation and meals
- ③Traveler's accident insurance (Note: Japanese entry visa fee, when applicable, must be paid by the participating students.)

5.応募条件：

- ①20歳以上25歳以下であること。
- ②日本航空各支店・事業所の所在国・地域の出身で、各国・地域内の大学・大学院に在学していること(卒業生不可)。
- ③原則として、日本語能力検定試験2級以上であること。注：講義、ディスカッションを日本語で行うことから、

それを理解できる能力を有していること。

- ④全ての企画されたプログラムに参加し、プログラムの運営に積極的に協力し、規律を守ることが出来ること。
 - ⑤来日、帰国の際には、主催者の指定する航空便を利用し、その他利用交通機関の指定がある場合は従うこと（個人的な理由による来日・帰国時の、搭乗日、搭乗便の変更は認められません）。
 - ⑥プログラム開始前の事前課題の検討、及び終了後のレポート作成に取り組み、主催者が指定する日までに各々を提出すること。
- * 上記①～⑥を満たすことが難しい場合などは財団担当者へご相談ください。

5. Applicant requirements

Qualification requirements

- ①Be aged 20 to 25 years old when the program commences.
- ②Be a citizen of the country/region which he or she is applying for the program from and must be either an undergraduate or postgraduate student in that country/region.
- ③In principle, have a command of Japanese equivalent to or above Japanese Proficiency Test Level 2. (All the lectures and discussions will be prepared and conducted in Japanese.)
- ④Attend all classes, all sessions, and all activities scheduled by the organizer.
- ⑤Take the specified transportations and flights to/from Japan. No changes of flights for personal reasons will be permitted.
- ⑥Submit reports on the task assigned prior to the program start as well as on the program activities by the due dates.

選考上の要件：

選考にあたって以下を重視いたします。

- ①日本に興味・関心があり、文化・習慣を積極的に体験する意思があること。
- ②明るく協調性があり、健康であること。
- ③なるべく日本に滞在したことのない方を優先します。

Application Criteria

- ①Have an interest in Japan and be willing to experience Japanese culture and customs.
- ②Be healthy, of a cheerful disposition, and able to get along well with others.
- ③The person who has not been to Japan would be chosen on a priority basis friendly toward Japan.

6. 募集地域・人数・選定プロセスなど

2021 JALスカラシッププログラムでは、下記の国・地域で日本語を学ぶ大学生・大学院生（原則として各国・地域1名）を日本に招待します。

(招待国・地域一覧)

韓国（ソウル、プサン）、中国（北京、大連、上海、広州、香港）、台湾（台北、高雄）、フィリピン、ベトナム（ハノイ、ホーチミン）、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、オーストラリア、グアム。

(選考プロセス)

参加者の選考は各国・地域の日本航空支店に委託しております。メインテーマに関して作成・提出して頂いた日本語小論文の審査と面接により選考することを基本としますが、選考プロセスは各国・地域により異なる場合があります。

6. Process of application

The 2021 Program invites university students who are studying the Japanese language in the following countries and regions. In principle, one student per city will be selected from the respective country or region.

(Countries and regions participating in the Program)

Korea (Seoul, Busan), China(Beijing, Dalian, Shanghai, Guangzhou, Hong Kong), Taiwan (Taipei, Gaoxiong), Philippines, Vietnam (Hanoi, Ho Chi Minh City), Thailand, Cambodia, Laos, Myanmar, Malaysia, Singapore, Indonesia, India, Australia, Guam.

(Selection Process)

Selection of the students will be entrusted to Japan Airlines branch offices in the respective countries and regions. Accordingly, the selection process may differ depending on the country and region; however, the basic method will be an essay in Japanese on the main theme as well as interviews.

お問い合わせ先 / Inquiry

Japan Airlines branch offices

- 韓国 : org.selssg.jali@jal.com
- 中国
 - 北京 : bjbog2@ml.jal.com
 - 大連 : org.dlcku.jali@jal.com
 - 広州 : org.canskg.jali@jal.com
 - 香港 : org.hkgkkg.jali@jal.com
- 台湾
 - 台北 : twnbog.zai@ml.jal.com
 - 高雄 : org.khhsj.jali@jal.com
- フィリピン : deyto.jkyk@jal.com
- ベトナム
 - ハノイ : trang.qre6@jal.com
 - ホーチミン : ly.sb7t@jal.com
- タイ (含む カンボジア、ラオス、ミャンマー)
 - bkkbog@ml.jal.com
 - supiluck.q44q@jal.com
- マレーシア : org.kulssp.jali@jal.com
- シンガポール : sinssg@ml.jal.com
- インドネシア : org.jktskg.jali@jal.com
- インド : org.ijas.jali@jal.com
 - aggarwal.rday@jal.com
- オーストラリア : syd.marketing@jal.com
- グアム : gumskg@ml.jal.com

JALスカラシップ トピックス

- Korea : org.selssg.jali@jal.com
- China
 - Beijing : bjbog2@ml.jal.com
 - Dalian : org.dlcku.jali@jal.com
 - Guangzhou : org.canskg.jali@jal.com
 - Hong Kong : org.hkgkkg.jali@jal.com
- Taiwan
 - Taipei : twnbog.zai@ml.jal.com
 - Kaohsiung : org.khhsj.jali@jal.com
- Philippines : deyto.jkyk@jal.com
- Vietnam
 - Hanoi : trang.qre6@jal.com
 - Ho Chi Minh City : ly.sb7t@jal.com
- Thailand (Incl. Cambodia, Laos and Myanmar)
 - bkkbog@ml.jal.com
 - supiluck.q44q@jal.com
- Malaysia : org.kulssp.jali@jal.com
- Singapore : sinssg@ml.jal.com
- Indonesia : org.jktskg.jali@jal.com
- India : org.ijas.jali@jal.com
 - aggarwal.rday@jal.com
- Australia : syd.marketing@jal.com
- Guam : gumskg@ml.jal.com

JAL財団 : org.tyogr2.jali@jal.com





国際連合広報センター

United Nations Information Centre

持続可能な開発サミット: 人々と地球のために、私たちの世界を転換させよう (2015年9月25-27日) 概要

プレスリリース 15-082-J 2015年09月17日

誰も置き去りにしない、新たな持続可能な開発アジェンダ

9月25日から27日にかけて、ニューヨークの国連本部で開催される「国連持続可能な開発サミット」には、161の加盟国の首脳が出席し、新たな野心的な持続可能な開発アジェンダを採択することになっています。この重要なアジェンダは、国際社会と各国政府が、今後15年間の繁栄と福祉の共有を促進するための出発点となるものです。



潘基文 (バン・ギムン) 国連事務総長は8月2日、サミットの成果文書に関する加盟国のコンセンサスができたことを受け、今回の合意が「私たちの世界にとって歴史的な転換点が訪れたことを告げる普遍的、画期的かつ統合的なアジェンダを含んでいる」ことを明らかにしました。

「これは『人民のアジェンダ』であり、あらゆる場所のあらゆる次元で貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしないための行動計画となります」事務総長はこのように述べています。

193の国連加盟国が合意したアジェンダ案「Transforming Our World: 2030 Agenda for Sustainable Development (私たちの世界を転換する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ)」は、宣言、17の持続可能な開発目標と169項目のターゲット、実施手段と新たなグローバル・パートナーシップに関するセクション、および、再検討とフォローアップの枠組みから構成されています。

このアジェンダは、貧しい国、豊かな国、中所得国を含め、あらゆる国々の行動を求め、独創性に富むものです。また、貧困に終止符を打つためには、経済成長を実現し、教育や保健、社会保障、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズに対応する一方で、気候変動や環境保護にも取り組む計画が必要だという認識を示しています。さらに、不平等やインフラ、エネルギー、消費、生物多様性、海洋、産業化といった問題も取り扱っています。

この新しい持続可能な開発アジェンダは、エチオピアのアディスアベバで最近開催された「開発資金会議」の成果を土台としています。また、今年12月にパリで行われる新たな有意義かつ普遍的な気候協定に関する交渉にも好影響を与えることが期待されています。

人々と地球のためのグローバルな行動に向けた政府間協議プロセス

史上最大の成功を収めた貧困対策運動のきっかけとなった「ミレニアム開発目標 (MDGs)」は、世界のリーダーが9月、採択する新たな持続可能な開発アジェンダのたたき台となっています。

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議 (地球サミット)」以来、世界は人間の福祉を実現する新たな経路として、持続可能な開発の道を進むことを明らかにしました。「アジェンダ21」で提示された持続可能な開発という理念は、経済開発と、人々のニーズを充足し、環境を守る成長とのバランスをとらなければならないことを認識するものでした。

新たな持続可能な開発アジェンダは、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」の成果、2010年の「MDGsサミット」、2012年の「国連持続可能な開発会議 (リオ+20)」の成果、および、全世界の人々が示した見解を基に策定されています。

各国はMDGsの成功を認識し、リオ+20の成果文書「私たちが望む世界」の中で、一連の持続可能な開発目標を策定し、検討と適切な行動を仰ぐためのオープン・ワーキング・グループの設置に合意しました。

オープン・ワーキング・グループは1年以上に及ぶ包摂的かつ集中的な協議の末、17の具体的な目標と、これに関連する169項目のターゲットを提案しました。

2年以上にわたり行われた目標の内容に関する政府間交渉には、市民社会その他のステークホルダーからも数多くの意見が寄せられました。包摂的で透明性のある協議の結果、8月2日には、新たな持続可能な開発アジェンダに関する成果文書についてコンセンサスが成立しました。

この新しいアジェンダは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、世界のリーダーが正式に採択することになります。

持続可能な開発目標

- 目標1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- 目標4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標6 すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 目標7 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 目標9 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- 目標10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 目標14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 目標17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

* * * * *

関連リンク: [持続可能な開発目標ファクトシートはこちらをご覧ください。](#)

Copyright © UNIC, All Rights Reserved.

永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係